

いちのみや おサイフ事情

令和4年度の歳出決算額をひとりあたりにすると36万7千円です。
分野ごとに対象者ひとりあたりの金額をみてみると…

防災・安全

1.6万円 ± 0 万円 (+2.6%)

防災・安全に係る経費	60億2,289万円
人口	37万9,538人

浸水被害を軽減するため川崎川、千間堀川などの河川改修を進めました。また、古くなった消防車や救急車を買い換えました。



障害者福祉

68.5万円 $+3$ 万円 (+4.6%)

障害者福祉に係る経費	140億9,699万円
障害者手帳所持者数	2万581人

障害児の放課後等デイサービスや障害者のグループホームサービスなどの需要が増しました。



市の決算額ひとりあたり

36.7万円

令和3年度と比べて
-0.4万円 (-1.2%)

令和4年度 一般会計歳出決算額	1,391億587万円
人口	37万9,538人

こども・子育て

65.9万円 -13 万円 (-16.5%)

こども・子育てに係る経費	312億2,628万円
14歳以下人口	4万7,413人

児童館を増築して放課後児童クラブの定員を増やしました。また、中学校3校に不登校の生徒らを支援するサポートルームを設置しました。

前年度にGIGAスクール構想の整備(1人1台学習用端末の導入)をしたことから全体としては減少しました。



高齢者福祉

7.5万円 $+1.1$ 万円 (+17.0%)

高齢者福祉に係る経費	77億1,829万円
65歳以上人口	10万3,420人

高齢者の外出を支援するため、タクシー利用券の配付対象を90歳以上から85歳以上に引き下げました。また、特別養護老人ホームの建設補助などにより市内の介護施設を充実させました。



コロナ対策・物価高騰対策事業も幅広く実施しました。

コロナ対策・物価高騰対策 3.4万円 -1.2 万円 (-27.0%)

コロナ対策・物価高騰対策関連経費	130億7,819万円
人口	37万9,538人

ワクチン接種を推進するとともに、水道の基本料金や保育園等・小中学校の給食費を4か月分無償にするなど市独自の事業も展開しました。

前年度に子育て世帯へ臨時特別給付をしたことから全体としては減少しました。



※該当経費に伴う歳入は加味していません。対象者数は、令和4年度実績または令和4年度末時点で把握している数値です。

市では、予算の「見える化」を進めています。事業の有効性を測るための指標であるKPIを導入し、事業の対象者あたりの経費はいくらか、そのコストを公開しています。

詳しくは、市ウェブサイトをご覧ください。ID 1047141

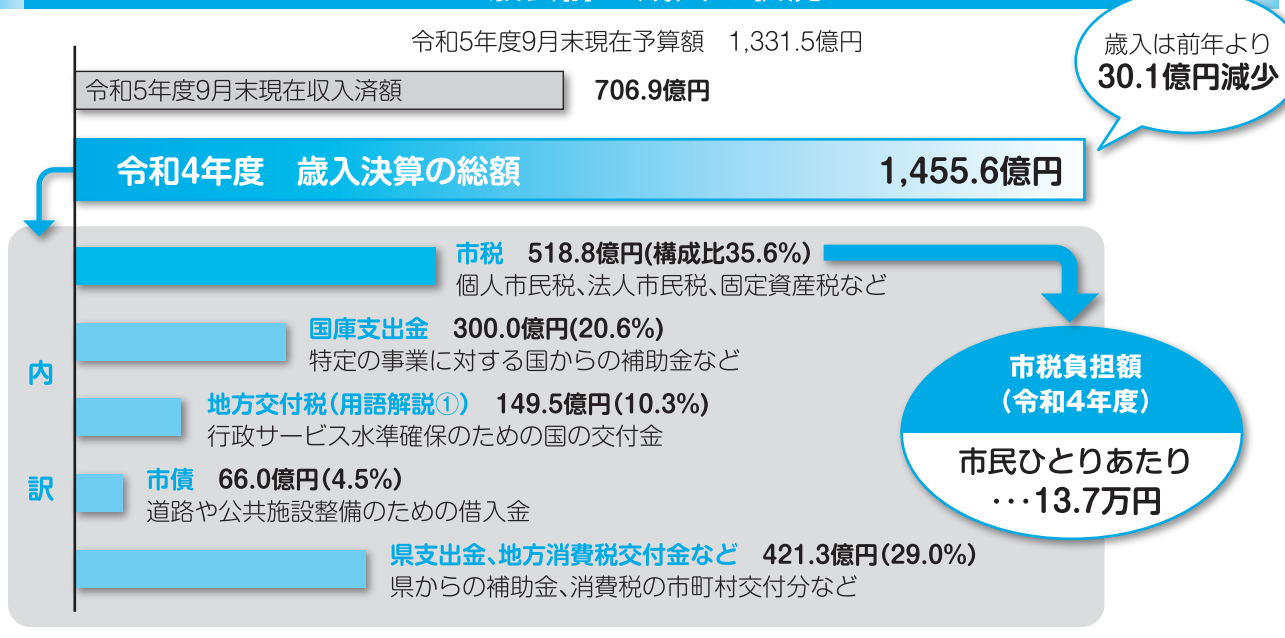
※ ID は市ウェブサイトのページID番号です。
市ウェブサイト内の検索ボックスに入力してください。

いちのみや 財政の状況

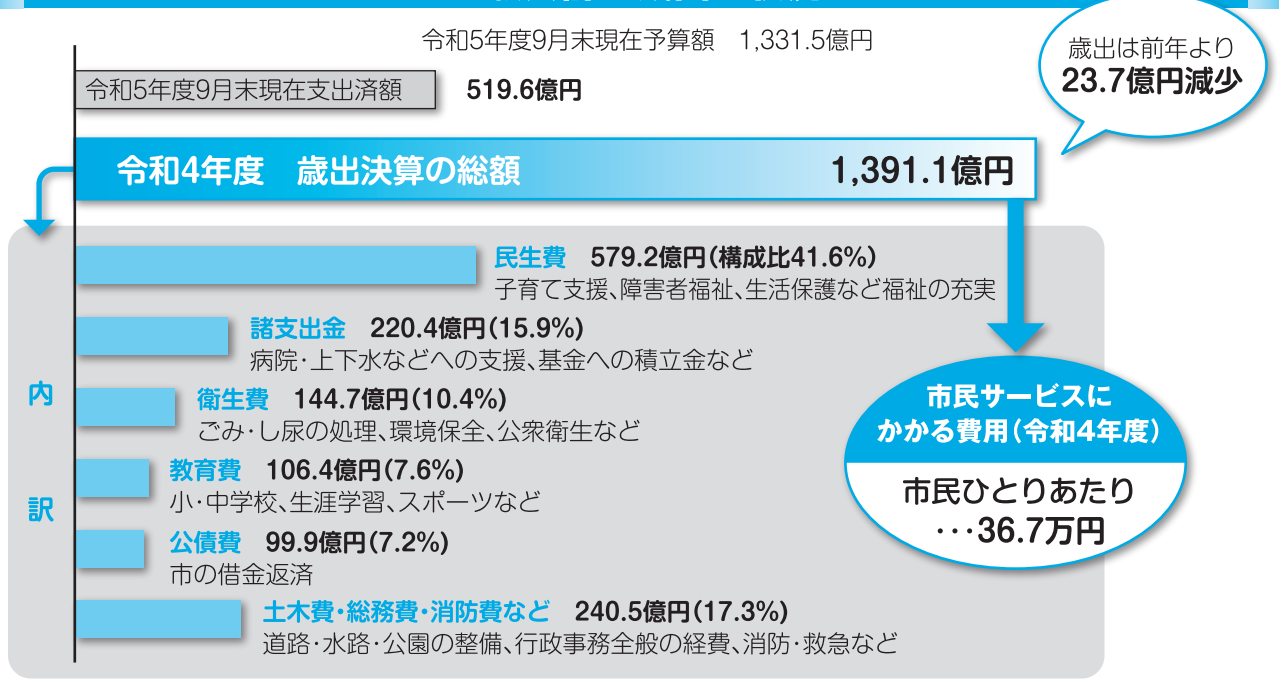
～令和4年度決算と
令和5年度上半期執行状況～

「財政状況」の公表に関する条例の規定により、令和4年度決算状況と令和5年度上半期(4月1日から9月30日まで)の財政状況をお知らせします。詳しい情報は、市ウェブサイト [ID 1015044](#) をご覧ください。

一般会計 歳入の状況



一般会計 歳出の状況



令和4年度の決算額は、前年度に比べ、歳入は約30.1億円、歳出は約23.7億円減少しました。歳出の主な増減費目は、以下のとおりです。

- 衛生費 128.2億円→144.7億円(+16.5億円)…自宅療養者等への医療提供事業の増など
- 民生費 599.2億円→579.2億円(-20.0億円)…子育て世帯への臨時特別給付金給付事業の減など
- 諸支出金 239.7億円→220.4億円(-19.3億円)…公共施設整備等基金積立金の減など
- 教育費 116.3億円→106.4億円(-9.9億円)…GIGAスクール構想整備事業の減など

特別会計 令和4年度決算の状況

最終予算額	歳入決算額	収入率	歳出決算額	支出率
726億2,639万円	731億6,675万円	100.7%	708億2,805万円	97.5%

※国民健康保険事業・後期高齢者医療事業・介護保険事業・公共駐車場事業・外崎土地区画整理事業・母子父子寡婦福祉資金貸付事業の合算

企業会計 令和4年度決算の状況

企業会計では収支を2つに区分します。料金収入や施設の維持管理費など営業活動による収支を収益的収支といいます。また、施設の建設改良費やそのための借入金など資産の取得等に関する収支のことを資本的収支といいます。

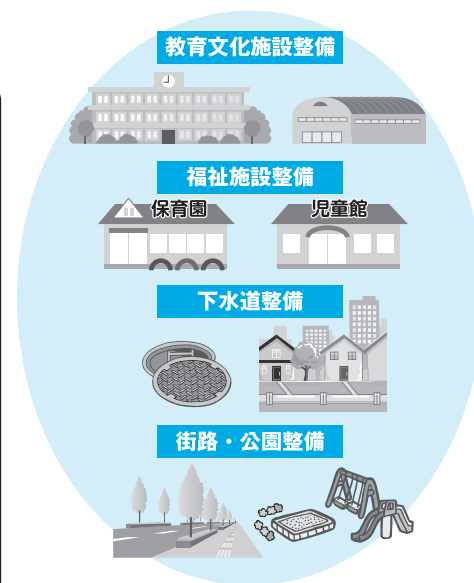
会計名	収益的収支		資本的収支	
	収入決算額	支出決算額	収入決算額	支出決算額
病院事業	270億5,428万円	264億5,489万円	3億1,745万円	14億7,074万円
水道事業	53億9,197万円	50億8,810万円	28億6,171万円	51億1,808万円
下水道事業	80億1,090万円	79億5,783万円	44億9,504万円	78億4,257万円

令和4年度の目的税等の使いみち

目的税とは、特定の目的のために使うことが定められている税のことです。一宮市の場合、事業所税・都市計画税・入湯税が該当します。また、消費税の一部は、県を通じて市へ交付金として配分されますが、その一定割合については、社会保障費に充てることが定められています。市では、これらの目的税等を下記の事業に充てています。

事業所税・都市計画税の使いみち

対象事業	事業所税充当額	都市計画税充当額
合計	11億4,363万円	29億5,798万円
教育文化施設整備 ・小中学校施設整備事業 (外壁塗装・屋上防水ほか) ・木曽川体育館天井等改修事業 ・公民館空調設備改修事業 (西成・木曽川ほか) など	7億7,427万円	—
福祉施設整備 ・児童館整備事業(児童クラブ定員増等) (貴船・大和・大志) ・保育園施設整備事業(奥町東・三条ほか) ・いこいの広場整備事業 (時之島・浅井・木曽川ほか) など	1億6,260万円	—
下水道整備 ・下水道環境の整備事業関連	9,640万円	19億644万円
街路・公園整備 ・公園維持管理事業(管理委託・施設修繕) ・遊具の更新 など	5,033万円	9億9,534万円
その他(土地区画整理など)	6,003万円	5,620万円



地方消費税交付金 (社会保障財源分)の使いみち

(令和元年10月の消費税率引上げによる地方の増収分)

対象事業	充当額
合計	53億784万円
社会福祉 (子育て支援など)	27億3,399万円
社会保険 (医療・介護保険など)	17億5,398万円
保健衛生 (感染症予防など)	8億1,987万円

入湯税の使いみち

対象事業	充当額
消防施設等整備(消防車両)	28万円

水槽付消防ポンプ 自動車の更新



いちのみや 財務書類

一宮市では、民間企業のような「発生主義」や「複式簿記」の考え方を取り入れた財務書類を作成しています。財務書類では、資産・負債の状況や、これまでの現金収支を基礎とした制度では数値化していなかった減価償却費などを把握し、より詳細に市の財政状況が分析できます。財務書類は、一般会計を主体とする「一般会計等」に加え、特別会計・公営事業会計や第三セクター等関係団体も含めた「全体会計」「連結会計」があり、今回はその一部を掲載しています。

詳しい内容は市資料コーナー（本庁舎、尾西・木曾川庁舎）や市ウェブサイトをご覧ください。ID 1003836

貸借対照表(バランスシート) (令和5年3月31日現在)

年度末に所有する財産(資産)の総額とその財源がこれから負担するもの(負債)なのか、すでに負担したもの(純資産)なのかを示すものです。

下の表の一般会計等を例に取ります。資産の総額は4,795億円です。この内訳は、これから負担しなければいけない金額が1,231億円、これまでに負担した金額が3,564億円ということがわかります。所有する資産に対しこれまでに負担した金額が多ければ多いほど、これからの負担は小さくなります。

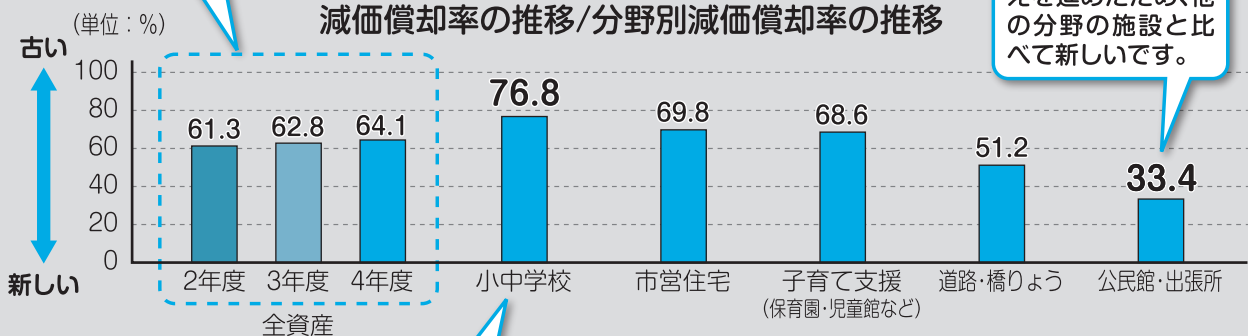
(単位：億円)

資産 市が保有している財産			負債 これからの世代が 負担する借金		
	一般会計等	連結会計		一般会計等	連結会計
1 公共資産(施設) 市庁舎、学校、道路、公園、病院、上下水道施設など	4,131	6,183	1 短期の負債 1年以内に支払うもの(R5年度に支払う市債の元金など)	136	289
2 投資など 基金、出資金など	505	127	2 長期の負債 1年以上先に支払うもの(R6年度以降に支払う元金など)	1,095	2,621
3 流動資産 (1) 現金預金 (2) 未収金など	159	491	負債の総額	1,231	2,910
	82	310	純資産 これまでの世代が すでに負担したもの		
	77	181		一般会計等	連結会計
			純資産の総額	3,564	3,891
資産の総額	4,795	6,801	負債と純資産の総額	4,795	6,801

資産の老朽化

資産が年数を経て価値がどれだけ減少したかを示す割合を減価償却率といい、この数値が高いほど公共資産の老朽化が進んでいると言えます。全資産の令和4年度の減価償却率は、令和3年度からやや上昇し、64.1%となりました。今後は、この率が上昇しすぎないように計画的に資産の維持補修を進めていくことが求められます。

一宮市全体でみると、老朽化が徐々に進んでいることがわかります。



近年、新築や建て替えを進めたため、他の分野の施設と比べて新しいです。

小中学校の老朽化が進んでいる状況を踏まえ、「シン学校プロジェクト」をスタートさせました。新しい時代の学校施設の在り方を検討し、少子化や複合化などを考慮した建て替えを進めていきます。

※複合施設はのべ床面積で按分しています。

行政コスト計算書 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

行政コスト計算書とは一宮市の1年間の活動をコスト(経費)という側面から示したものです。

福祉サービスに係る経費などの社会保障費や実際の支出が発生しない減価償却費など普段から行政サービスに使う費用(経常費用)と、そのサービスの対価として収入する使用料や手数料など(経常収益)を差し引きすると、純経常行政コスト(市税などで市が負担する金額)が示されます。一般会計等では1,237億円になります。

(単位：億円)

	一般会計等	連結会計
経常費用	1,285	2,833
1 人にかかるコスト 職員給与、退職金など	220	374
2 業務にかかるコスト 施設修繕費、光熱水費、減価償却費など	412	732
3 給付にかかるコスト 補助金、社会保障費など	653	1,727
経常収益	48	393
受益者負担(利用者が支払う使用料・手数料)など	48	393
純経常行政コスト(経常費用 - 経常収益)	1,237	2,440

行政サービスの費用から受益者負担(使用料・手数料収入)を差し引いた純経常行政コストは市税などでまかなわれています。

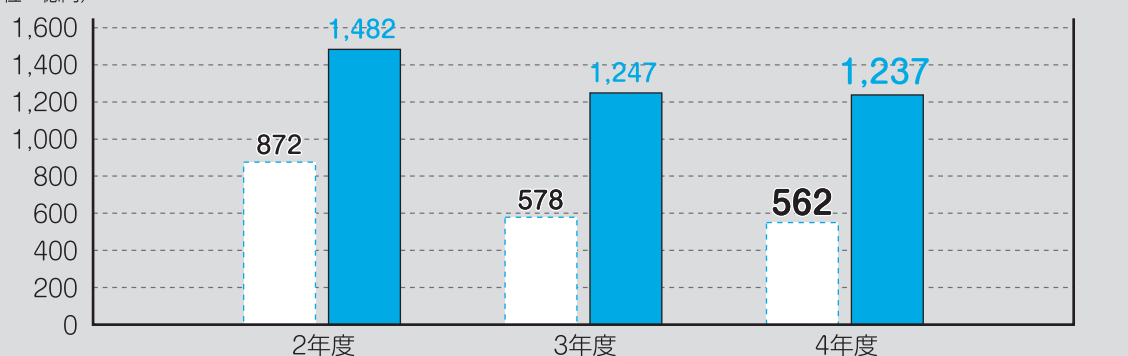
前年比-10

下の青色の棒グラフは、一般会計等の純経常行政コストの推移です。令和2年度に新型コロナウイルス感染症対策費用の増加により過去最大規模となりました。令和3年度以降は減少しつつありますが、新型コロナウイルス感染症流行前と比較すると依然として高い水準です。

白色の棒グラフは経常費用のうち社会保障費・補助金等を示しており、それらの増減が純経常行政コストの増減に深くかかわっていることが分かります。

一般会計等純経常行政コスト等の推移

(単位：億円)

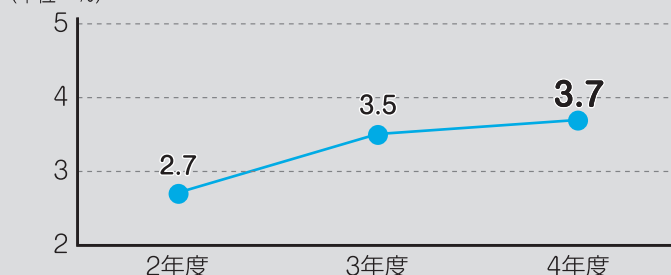


右の折れ線グラフは、行政サービスに必要な費用のうち利用者がどれだけ負担しているかという受益者負担の割合です。一宮市では、行政サービスを利用する人と利用しない人の間で不公平が生じないように、使用料や手数料を適切に設定し、社会情勢やサービスの変化に応じて見直ししています。

一宮市の受益者負担の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に下がりましたが、放課後児童クラブの利用料の引き上げや公共施設の利用者数の増加により、令和4年度は3.7%まで上がりました。

受益者負担の割合の推移 (経常収益/経常費用)

(単位：%)



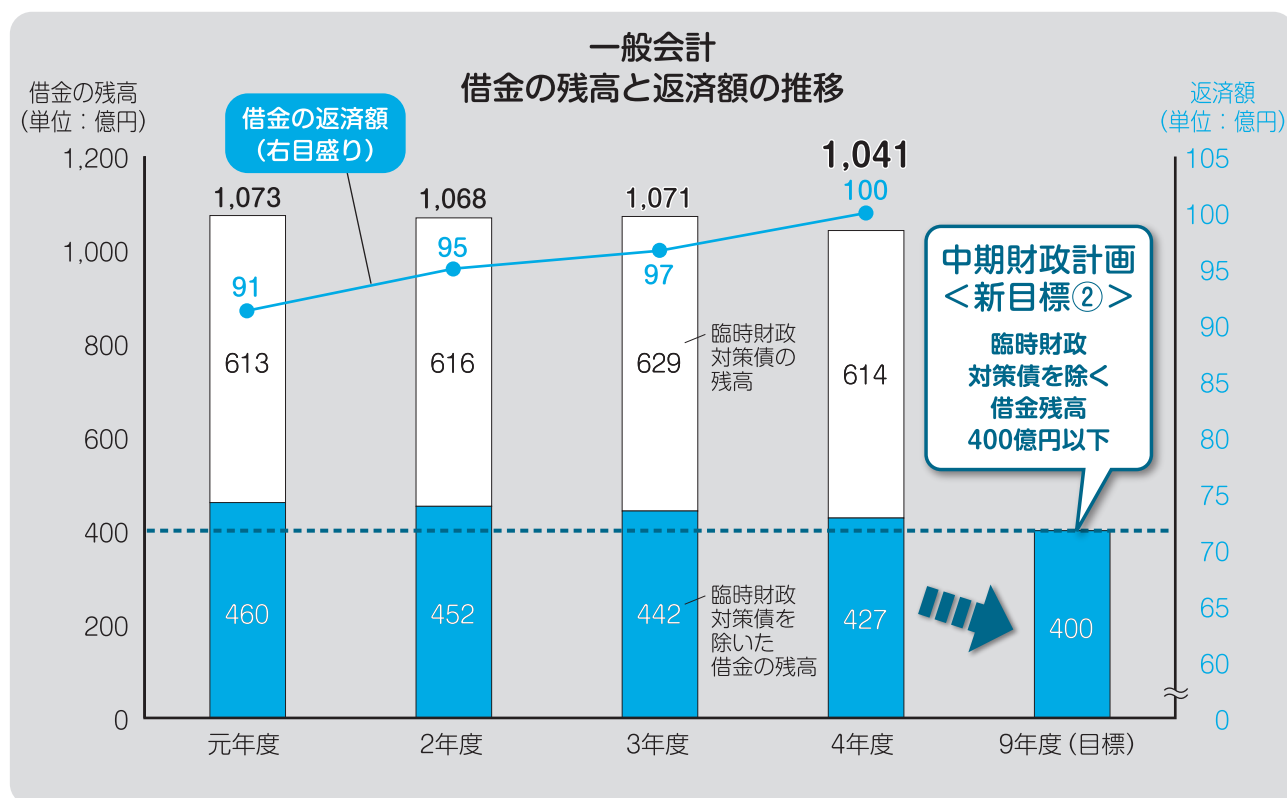
いちのみや 市債(借金)

学校や道路、大型施設の整備には多くの費用が必要となるため、一宮市では借金をして資金を調達しています。これを「市債」といいます。整備された施設は長い間利用されるものなので、借金である市債を長い期間で返済することで、将来の世代まで平等に負担することにもつながります。

下の棒グラフは一般会計の借金の残高です。青色の棒グラフは、臨時財政対策債(用語解説②)を除いた借金の残高を示しています。平成30年度以降、減少に転じており、令和4年度は残高が15億円減少しました。

折れ線グラフは、借金の返済額で、元金と利子の総額です。近年は徐々に増加しており、今後もこの傾向が続くことが見込まれます。

臨時財政対策債を除いた借金の令和4年度末残高は427億円ですが、中期財政計画(P. 8参照)のもと、令和9年度末に400億円以下になるよう取り組みを進めます。



毎年の収入(市税・地方交付税・使用料など)に対する借金の残高の割合

借金の残高 ÷ 令和4年度経常収入 = **1.0年分** (令和3年度 1.0年分)

毎年の支出(人件費・維持補修費・委託料など)に占める借金の返済額の割合

借金の返済額 ÷ 令和4年度経常支出 = **9.7%** (令和3年度 9.7%)

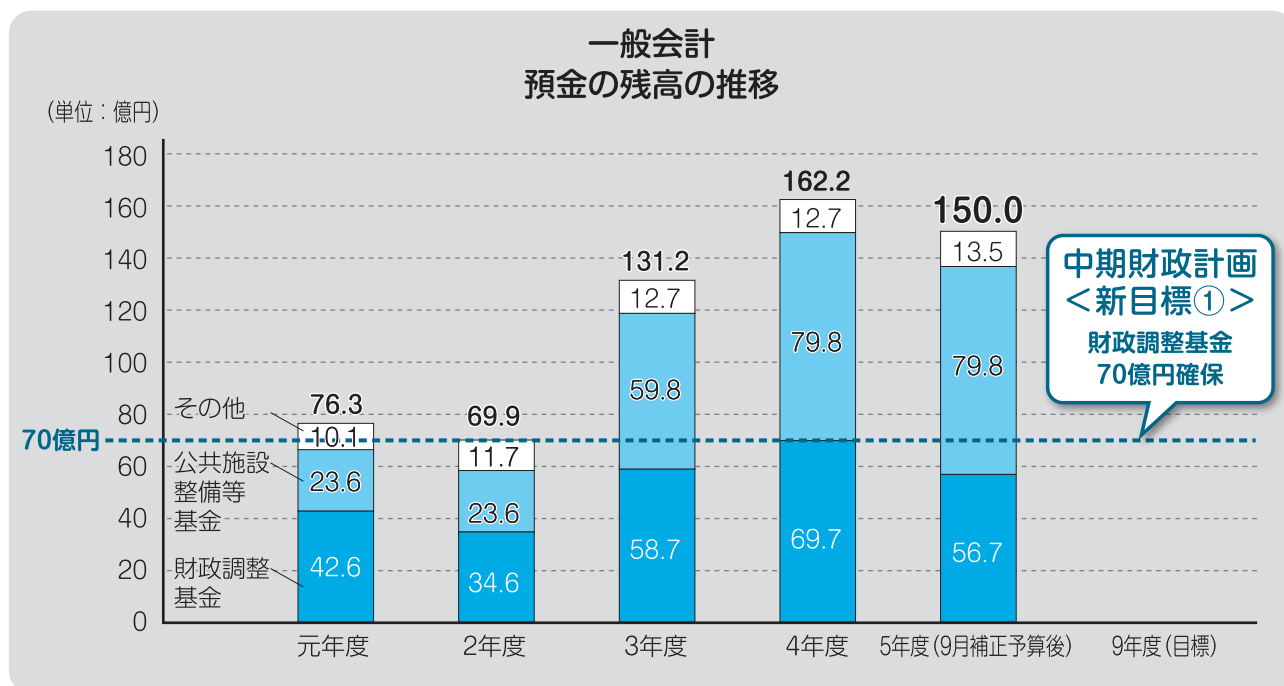
中核市(用語解説③)62市のうち、少ないほうから12位

	一宮市	中核市平均
市民ひとりあたり借金の残高	27.4万円 (令和3年度 28.1万円)	38.0万円
市民ひとりあたり借金の返済額	2.6万円 (令和3年度 2.5万円)	3.8万円

いちのみや 基金(預金)

一宮市では、特定の目的のために預金を積み立てたり引き出したりしています。これを「基金」といいます。下のグラフは一般会計の預金の残高です。公共施設整備等基金は、古くなった公共施設の修繕・改修に備えるもので、令和4年度においては20億円を積み立て、79.8億円となりました。

また、収入の不足を補ったり、災害など不測の事態に備える財政調整基金は、令和5年度当初予算において、財源不足を補うため25億円を取り崩し、一旦は残高が大きく落ち込みましたが、令和5年9月補正予算で12億円の積み立てを予算計上しました。令和5年度以降は、中期財政計画の新目標(令和9年度末に残高70億円)の達成に向けて取り組んでいきます。



毎月の収入(市税・地方交付税・使用料など)に対する預金の残高

預金の残高 ÷ (令和4年度経常収入 ÷ 12か月) = **1.8か月分** (令和3年度 1.5か月分)

中核市62市のうち、多い方から54位

	一宮市	中核市平均
市民ひとりあたり預金の残高	4.3万円 (令和3年度 3.4万円)	7.7万円

用語解説

①地方交付税

すべての地方公共団体が一定の行政サービス水準を維持できる財源を保障するために国税を一定の基準によって再配分する制度です。

②臨時財政対策債

本来国から交付されるべき地方交付税の不足分を賄う市債です。元金と利子の返済額全てが後年度の地方交付税で手当てされます。

③中核市

地方自治法により定められた、政令で指定する人口20万人以上の都市です。一宮市は、地域の実情に合ったより質の高い行政サービスを提供するため、令和3年度に施行時特例市から中核市へ移行し、愛知県から保健所業務などの権限移譲を受けました。愛知県内では、豊田市・豊橋市・岡崎市に次いで4番目で、尾張地方では初の中核市です。

いちのみやの家計簿

一宮市の1年間を500万円の家計にあてはめたら…

一般会計の令和4年度歳入決算額1,456億円を年間500万円の家計に置き換えてみました。

家族が働いて得た収入は**313万円**

生活費は**384万円**

収入 (入ってきたお金)

給料(市税)	178万円
諸手当(地方交付税など)	94万円
パート収入(使用料・手数料など)	41万円
預金引き出し(基金の取崩し)	12万円
貸したお金で返してもらった分(貸付金返済額)	4万円
親からの援助(国・県からの補助金)	148万円
住宅・車のローン借入(市債)	23万円
合計	500万円

コロナ対策として、国・県の補助金を多くもらいました。

令和3年度に子育て世帯へ臨時特別給付をしたことから減少しています。

ローン残高(市債残高)	358万円
預金残高(基金残高)	56万円

支出 (出ていったお金)

食費(人件費)	74万円
医療費・社会保険料(扶助費)	137万円
光熱水費、被服費など(物件費・補助費等)	124万円
車や家財の修理代(維持補修費)	3万円
子どもたちへの援助(繰出金)	46万円
ローン返済(公債費)	34万円
家の増改築・車の購入など(投資的経費)	34万円
貸したお金(投資及び出資金・貸付金)	4万円
預金(積立金)	22万円
合計	478万円

繰越金

カード引去確定額(繰越事業費)	2万円
財布残金(令和5年度予算繰越分)	20万円
合計	22万円

令和4年度はお財布に22万円残りました。
これは令和5年度以降の支出に使われます。

一宮市中期財政計画と目標

一宮市では将来世代の負担を軽減し持続可能な未来に向けて「一宮市中期財政計画」を策定・推進しています。

※「一宮市中期財政計画」は、一宮市ウェブサイトでご覧いただけます。ID 1023829

平成30年度に策定した中期財政計画は、令和4年度に最終年度を迎えました。歳入の確保・歳出の削減のための取組を全庁的に進めてきた結果、令和4年度末時点で市債残高は427億円、財政調整基金残高は70億円となり、計画で掲げた2つの目標を達成することができました。

これまでの目標
(平成30年度～令和4年度)

- ・ 財政調整基金残高25億円を確保します **達成!**
- ・ 市債残高(臨時財政対策債を除く)を430億円以下に圧縮します **達成!**

そして、令和5年度から令和9年度を計画期間とする新たな中期財政計画を策定しました。

これからの目標
(令和5年度～令和9年度)

- ① 財政調整基金残高70億円を確保します
- ② 市債残高(臨時財政対策債を除く)を400億円以下に圧縮します

新しい目標の達成に向け、受益者負担の適正化や市の財産の有効活用による財源の獲得など、歳入の確保に努めるとともに、「スクラップ・アンド・ビルド」による事業の見直しや公共施設の縮充による維持管理経費の抑制など歳出の削減に取り組んでいきます。

いちのみやの家計簿の補足説明

市の支出を性質別に分類したときに用いられる経費が、人件費、扶助費、公債費などです。これらの用語は、家庭では普段使われていないものが多いことから、この「家計簿」では人件費を食費、扶助費を家族の医療費・社会保険料、公債費をローン返済などのように置き換えています。それぞれの経費の内容は次のとおりです。

経 費 の 種 類	内 容	
人 件 費	義 務 的 経 費	職員の給料や手当、議員報酬などの経費
扶 助 費		生活困窮者、児童、老人、障害者などを援助するための経費
公 債 費		借入金の元金や利子を支払う経費
物 件 費	消耗品費や旅費、公共施設の運営費などの経費	
維 持 補 修 費	公共施設などの保全のための経費	
補 助 費 等	団体などへの補助金、保険料、講師等への謝礼金、各種事業への負担金などの経費	
繰 出 金	国民健康保険事業や介護保険事業などの特別会計に支出する経費	
投 資 的 経 費	道路、公園、学校などの公共施設を整備するための経費	
積 立 金	収支不足を補う基金や、公共施設の建設など、特定の目的のための基金への積立金	
投 資 及 び 出 資 金	病院事業や上下水道事業への出資などのための経費	
貸 付 金	法令や条例などにに基づき、直接又は間接に貸付をする経費	